

平成 23 年度 地域の“まちづくりびと”養成講座  
川る？変わる！まちに仕掛ける。～仲間づくりでまちづくり～

### 第 3 回 「まち歩き」：フィールドワーク ～データや資料から学ぶ・実際に現場を体感し、魅力や課題を発見～

日時：平成 23 年 9 月 23 日（金・祝）

場所：天白区役所 講堂

時間：10 時 00 分～16 時 30 分

台風の影響で第 2 回の日程が変更となり、元々予定の無い日に第 3 回の講座を開催することとなりました。祝日で連休の初日ということもあり、受講生のみなさんがどれだけ出席していただけるのか若干の不安もありましたが、多くの方が集まってくれました。また、前日に天白川が増水したことも忘れるような絶好のまち歩き日和の天気となりました。



#### 10:00～10:25 はじめに

最初に、配布資料の確認などを行った後、実行委員の鈴木さんが前回の講座の振り返りを行いました。

第 2 回の講座で、色々なアイスブレイクやおしゃべりカフェを行ったことを受講生のアンケート結果の内容も織り交ぜながら話してくれましたので、受講生のみなさんにも思い出してもらえたものと思います。

続いてアイスブレイクも兼ねて、先回の第 2 回でできたグループで取り組む“最初の共同作業”を行ってもらいました。

各テーブルには、1 枚の画用紙とクレパスが置いてあり、それを使ってグループで 1 枚の絵をかいてもらいます。2 つルールがあります。

一つ目のルールは、順番を決めて 1 人ずつ書くということです。まず、順番を決めましたが、一番人数の多いグループが 8 人ですので、それ以下の人数のグループは、2 回書く人を決めました。

司会者が、これこれこういうものを書いてくださいと言ったものを 1 人につき 1 分以内で順番に書いていきます。

もう一つの大事なルールがあり、無言でやっていく。話さずにやっていくということです。(非言語の実習)

言葉を使わない、言語に頼らないで作業をするとどんなことがおきるのか体験してもらいます。



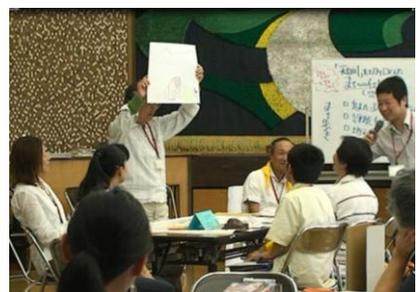
では、一番目の人からスタートです。自分が使いたい色を1本選んで書いていきます。順番に書いてもらった課題は次の通りです。

- ①画面の中に人間を一人書いてください。
- ②その人間が飼っていると思う動物をひとつ書いてください。
- ③その人間と、動物と一緒に暮らしているんじゃないかなと思う建物を書いてください。
- ④その人の手に何か持たせてください。
- ⑤何か風景（景色）になるものをひとつ書き足してください。
- ⑥季節が秋とわかるものを書いてください。
- ⑦その人間が乗っているんじゃないかなと思われる乗り物を書いてください。
- ⑧その人間をもう少しだけおしゃれな感じにしてください。

各グループで1人ずつ書いているときに思ったことや感じたことなどをインタビューしてみました。

やってくださいと言った作業（絵をかいてください）は共通でも、情報を受け取ってどう表現するかは個々人で違います。また、ある人が表現したものに影響されて作業をしていくことになります。言葉にして、初めてイメージが一緒だったことを確認しあうことになります。

世界で1つのグループで世界で一つの絵を描いてもらいました。



## 10:25~10:50 テータや資料で学ぶ天白川&天白区!

ここからは、加藤武志さんに講座を進めてもらいます。

まず、まちを実際に歩く前に天白川や天白区についてデータや資料をもとに天白区まちづくり推進室の阿部主査から軽妙なトークで説明を受けました。避難所マップや楽楽ウォーキングマップ、貴重な天白村史からの抜粋などの資料を示しながら第2回の講座で出た要望・質問などにも答えてもらいました。

- ・古くから住んでいる住民と新しい住民との交流の場はないのか。
- ・天白川の河川敷の利用や水利権について
- ・川の木や草を切ってもよいのか。
- ・現状と課題、河川改修の状況。
- ・橋の色の基準、昔と今の航空写真、etc・・・

なお、台風や大雨による非常配備の中、短時間で資料を集めていただいたことに感謝します。



## 10:50~11:15 ガイダンス～まち歩き作戦会議

いよいよ、まち歩きに入る前に注意事項の確認やカメラ係や記録係、インタビュー係などの役割分担を決めました。

加藤武志さんから、「自分たちでできる何か川を使って、まちを良くする活動・仕掛けはできないかということを考えることが、この講座の最大の使命です。そのためにまず、汗をかいてまちを歩いてみよう。みんなで歩くと新しい発見があるかもしれません。」

おいしいランチの店など地元の人に聞いてみたり、触ってみたり、五感を使っていただきたい。」とのお話がありました。

まち歩きの記録方法は、1つはポラロイドカメラで最大20枚の写真を撮り、戻ってからマップ作りに使います。次回以降に活用するためデジカメも併用しますが、こちらは特に枚数制限はありません。

マップには、グループが歩いたルート、写真を撮った場所などを記録していきます。まちの人へのインタビューメモシートも活用しながら、まち歩きをします。

大きな道路もあるので、特に交通安全と体調が悪くなったら無理をしないよう注意を促しました。



## 11:15~14:15 まち歩き=アクションリサーチ in 天白川

準備の整ったグループから出発です。

今年は、川を切り口ということで、特定の学区や地区がモデルではないため、まち歩きのルートは各グループにお任せで様々です。

何よりも安全にこの場所に全員戻っていただくことを祈りながら、送り出しました。



**元気に出発です！！**



途中で出会った地元の人にインタビューしたり、ここぞというポイントで写真を撮ったり、ランチをしたり、グループでなかまづくりも進めながら3時間ほどのまち歩きを行いました。各グループがデジカメで撮ってきた膨大な写真の中から一部載せてみました。



**お疲れさまでした！！**



**14:30~16:00 タンケン発見マップづくり**

歩くとやはり若干暑いのでみなさんお疲れ気味ですが、次に今、歩いてきた内容を「タンケン発見マップ」に整理します。同じグループで共有することと他のグループに伝えるという意味もあります。

共通のルールとしては次の通りです。

- ①写真の下に撮った意図がわかるようなタイトルをつける
- ②歩いたルートの色で表示する
- ③発見したことを書く（ポストイット等）
- ④インタビューメモ等、伝わりやすくレイアウトする

にぎやかにマップづくりが始まりました。ルートをなぞる人、写真のタイトルを書き込む人、付箋を用意する人など作業を進めていきました。

更にマップづくりに加え、各グループで発見してきたこと、気づいたことの中で、一押しベスト3を決めてもらいました。



**16:00~16:20 グループ発表&共有**

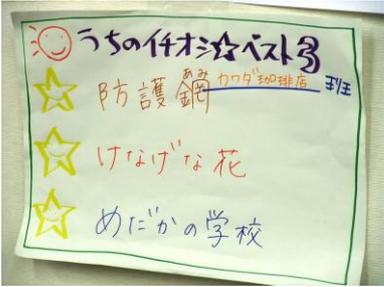
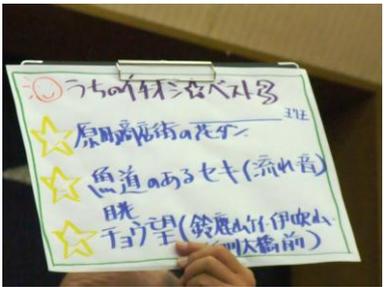
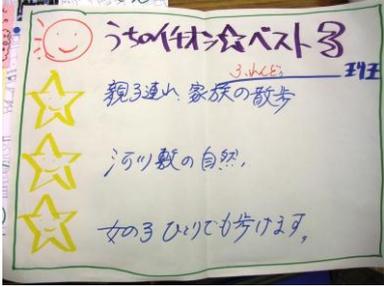
グループごとに「タンケンマップ」と「一押し☆ベスト3」を発表します。各グループ3分間の持ち時間です。

グループでまち歩きで見たもの発見したものや気づいたことなどを発表しました。

なかには、本物のうちわや葉っぱ、お菓子の包装紙が貼ってあるグループもありました。



つながりぐみ			
--------	--	--	--

<p>カワダ珈琲 風景店</p>			
<p>base cafe</p>			
<p>天白川を楽しむカフェ</p>			
<p>フレンDOカフェ</p>			

**16:20~16:30 ふりかえり&次回の案内**

最後に名古屋都市センター職員から次回の案内等を行い、第3回目の講座は終了しました。  
長時間の1日で、まち歩き疲れがあるものの、グループの結束力が高まった気がしました。

## \* アンケートより、全体を通じたご意見・ご感想など \*\*

- ・回を重ねるごとにメンバーの顔が見え、ムードが楽しく明るくさわやかな空気も感じるこの環境の中で何か1つでも具現化できると良いと思う。
- ・センダンの木を見つけられたこと。台風の後のせいなのか、川が前よりキレイだったことが今回の発見。
- ・出し切れないデータ等、インターネットでアクセスできるものも教えてほしい。
- ・植物・昆虫など、多種のものが生息しているとわかりました。残念なのは雑草が生えっぱなしで年に一度しか公式な草刈りをしないことで歩道や河川敷が台無しです。ボランティアなどで草刈りできれば常に利用しやすいと思います。
- ・センダンの木が見つけれられたのがうれしかった。小魚や昆虫、花、自然を満喫できた。つかれたけど楽しかった。
- ・他グループでは、また違った視点でまち歩きしたのがよくわかり参考になった。
- ・地図の読めない私でしたがマップ係になり、みなさんが親切に教えて下さって嬉しかったです。ランチがなかなか出てこなかったけれどもその分おしゃべりができて人のなりがわかってよかったです。
- ・みなさんパワフルだなあと感心してます。思っているも感じていても、うまく言葉に表現できず自分の力なさを痛感しました。
- ・身近なところなのに、新しい発見がたくさんありました。みんなで歩くと、すごいこといっぱいだなあ。
- ・皆様、色々な角度から見て普段気が付かなかった所が発見でき良かったです。植田川、天白川の違い等、良く分かりました。
- ・ふだん河川敷を歩くことはあまりないのですが、今日まち歩きをして、多くの草花・生き物を発見することができ驚きました。身の周りにも良いポイントはたくさんあるんですね～！
- ・天気も良く、気持ち良くまち歩きができた。グループで歩くと色々な発見が有り楽しかったです。
- ・天白川を歩いていると、どんどん違う風景になり、いろんな発見があつて楽しかったです。どんどん発言して、もっともっと盛り上げたいなと思いました。
- ・発表がみなさん上手でした。個性がでていてMAPが楽しい。
- ・近所なので新しい発見があるとは期待していなかったのに思いのほか、多くの発見があつた。まち歩きの大切さを再認識できた。
- ・グループの行動が楽しく次回を楽しみにしています。役員さん（スタッフ）ごくろうさまです。
- ・お昼に時間を取られてしまった。参加者の方となかよくなれて良かった。
- ・天白川沿いを歩きフレッシュな空気を吸えた。楽しかった。
- ・参加型の企画で面白かった。いろいろな人の意見を聞いて良かった。
- ・風があり大変気持ちよくまち歩きができました。事故もなく全員が元気に戻ってこられて安心しました。
- ・地元の人と歩いたことで、色々を知ることがあつた。まち歩きは楽しい。
- ・天白川を実際に歩き、どのような所かよくわかった。下水道処理還元施設は良いところなので多くの人に知ってもらえると良いと思う。
- ・皆さん楽しそうに“やっている”感じがして、仲間づくりの主旨が生きていると思う。
- ・川と暮らす人々の川に対する思い、川が人々に何を与えているのかが分かった気がして良かったです。

- ・今日は朝から一日中でしたが、とても楽しかったです。発表がうまく出来なくてグループのみんなに申し訳なかったです。
- ・時間がなかった。天白川と町のかかわりまで見る時間がなかった。
- ・つかれた。もっと分かち合いの時間がほしかった。初めゆっくり見すぎて、後半あせって見た感じがあった。ルート係のフーちゃんのおかげでスムーズにコースを見ることができた。とっても助かりました。ありがとうございました。
- ・川辺でそれぞれ楽しく生活している人々の姿が印象に残った。フレンドリーに何人にも声をかけられたのが驚きだった。
- ・歩きつかれました。今晚はよく寝ることができます。
- ・時間管理のため、各テーブルにストップウォッチがほしい。